



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

93.2.17 No. 3741

第一波

2.19貨物ストへ共に 新小岩佐倉結集し闘おう

闘いの要求

- (1) 1992年度内に、生活改善一時金として、基準内賃金の0.5ヶ月分を支払うこと。
- (2) 93・3ダイ改における要員削減計画を撤回すること。
- (3) 労働時間短縮について、当面次の内容により実施すること。
 - ① 「国民の祝日」「年末年始休日」を除いて、年間休日数を104日とすること。
 - ② 1日労働時間を短縮すること。
 - ③ 労働時間短縮に伴う必要要員を配置すること。
- (4) 「動労千葉申第17号」【別紙】踏切について、立体交差化等の抜本的な安全対策を講ずること。

スト拠点

- 新小岩、佐倉支部
- 拠点以外の支部の結集
新小岩拠点<津田沼、葛張、京葉、総武、根津、館山、房総>
佐倉拠点<千葉、成田、鉾田>

二月一日、反戦共同行動委員会は、全国九箇所において、「紀元節粉碎！天皇訪沖阻止、PKO即時撤兵、カンボジア第二次派兵阻止全国統一行動」を行なった。

動労千葉は、この日、東京・宮下公園で開催された二・一一首都行動へと結集した共同行動委員会の仲間とともに、集会・デモをもちとり、防衛庁への抗議行動を行なってきた。

首都行動では、労組交流センターに結集する仲間、部落解放同盟全国連合会、婦人民主クラ

ブ全国協や三里塚反対同盟、富士忍草母の会、長谷川英憲都議会議員など二六五名が結集した。発言者はそれぞれ、「戦後のタブーが次々と打ち破られる中で、既成政党、連合が侵略戦争に加担している。この危機的状況を打ち破り、憲法改悪！徴兵制の復活などの動きに対し、全力で立ち向かおう。」と異口同音に決意を明らかにした。

三月自衛隊北部方面隊第二次派兵阻止、四月天皇訪沖阻止に向け、全力で闘おう！

☆二・一九貨物スト！新小岩・佐倉へ結集しよう！

☆年度末差額獲得！「時短」粉碎！「九三・三ダイ改」阻止！反合・運転保安闘争に全力で決起しよう！

「分割・民営化」の矛盾と破産を、JR貨物は、労働者への転嫁（人員削減合理化）と格差（賃金抑制）によって乗りきろうとしている。

われわれは積年の怒りをかけて、とりわけ九二年年末手当での最大格差是正！年度末差額の獲得と、崩壊する「分割・民営化」体制の「見直し」攻撃である。「貨物八〇〇〇人体制」との本格決戦の初戦！「九三・三ダイ改」阻止闘争として、二月一九日始発時より乗務員が、一三時より地上勤務者が一四時までのストライキに決起する。

☆「モーダルシフト」を阻害する「分割・民営化」体制の矛盾

一月一〇日に発表された、総務庁行政監察結果による貨物会社への勧告は、「分割・民営化」が生みだした深刻な矛盾を提起したにすぎない。

社会的にも求められている、「モーダルシ

フト」に代えられない構造会社を作ったものこそ、「分割・民営化」に他ならないものであるにも関わらず、中継基地の整備や輸送ルートの見直し、輸送時間の短縮とサービス改善を列挙している。

まさに絵に書いた餅と言わざるを得ない。「貨物安楽死論」が一〇年を経たらずして、「鉄道貨物復権論」へと転換し、貨物輸送の推進を掲げながらそれを阻害しているものが、自らが強行した「分割・民営化」体制であるというのだから、勧告自体が破産宣言に他ならない。

☆許されざる「貨物八千人体制」攻撃を打倒しよう！

その矛盾と破産の見直しをかけた、「貨物八〇〇〇人体制」攻撃がついに動きだしている。合理化と格差攻撃は表裏一体のものである。貨物で働く労働者への転嫁そのものである。こんなことが許されるものでないことは誰の目にも明らかだ！

全ての怒りを二・一九ストに結集しよう！

一九日当日、新小岩・佐倉へ全組合員は総力をあげて集まり、闘いを共有しよう！

目録隊！ 第2次出兵阻止！即時撤兵！



2.11
「反戦共同行動委」
全国統一行動に
たちあがる。